

淀川キリスト教病院

外科

指導担当医（役職）

金光 聖哲（外科主任部長）

実習概要

概要

実習期間内に2-3人の患者を担当し、外科主治医団の一員として実習します。初診時の問診から、画像診断、方針決定、術前サマリー作成とプレゼンテーション、手術参加と手術記録作成、術後管理と退院サマリリーの作成まで、責任を持って受け持ちます。

医療面接

午前朝一番の回診時に入院患者の医療面接を行います。

初診外来で問診を行います。

身体診察

担当患者や、救急患者の診察を行います。

救急患者の手術適応決定や、術後の経過を評価するのに最も重要なことは外科的アセスメントに則った身体診察であることを学びます。

カルテ記載

担当患者のカルテ記載を行います。指導医が記載内容をチェックし、記載カルテをもとに問題点や治療方針を指導医とともに検討していきます。

症例プレゼンテーション

毎週木曜日のカルテ回診時に、口頭で簡潔に経過をプレゼンテーションします。

術前カンファレンス時に、担当患者の術前プレゼンテーションを行います。

その他（特色など）

緊急手術は平均週に4件程度あります。実習期間内にも救急受診から緊急手術となる症例も発生するので、救急外来での診察からの担当してもらうことも可能です。

外科希望者には、縫合結紮などの基本的な手技に加えて、シミュレーターや模型を使用して、よりアドバンスな手技（腸管吻合、血管結紮、腹腔鏡下結紮など）を学んでもらいます。

学生へのメッセージ

これまでに培った講義や実習での知識をもとに、実践に即したアセスメント、手技、プレゼンテーションを経験してください。これらの経験は知識の整理や定着にも大きく役立ちます。真剣にとりくむことによって、外科の基礎が身につくとともに、その面白さ、奥深さを感じてもらえます。